

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年8月16日 (2018.8.16)

【公開番号】特開2017-33102(P2017-33102A)

【公開日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-149812(P2015-149812)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 3 6 7

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 3 0 3

G 0 6 F 3/12 3 7 4

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/00 Z

G 0 3 G 21/00 3 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月3日 (2018.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置であって、  
ユーザ情報を記憶する記憶手段と、  
時間を計時する計時手段と、  
ユーザ情報の保持期間を示す保持期間情報を格納する格納手段と、  
ユーザにより投入されたジョブのデータを保存する保存手段と、  
前記計時手段より取得した現在日時と、前記格納手段に格納されている前記保持期間情報、及び前記ユーザ情報、及び前記保存手段における前記データの保存状況に応じて、前記記憶手段に記憶されているユーザ情報を削除するように制御する制御手段と、  
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記ユーザ情報は、ユーザの識別情報、当該ユーザが最後に前記情報処理装置にログインした日時、当該ユーザが他の情報処理装置を介して前記情報処理装置を最後に利用した日時、管理者かどうかを示す情報の、少なくともいくつかを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記ユーザのユーザ情報が管理者であることを示している場合は、前記記憶手段に記憶されている前記ユーザ情報を削除しないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

**【請求項 4】**

前記制御手段は、前記保存状況が、前記ユーザにより投入されたジョブのデータが前記保存手段に保存されていることを示している場合は、前記記憶手段に記憶されている前記ユーザ情報を削除しないことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

**【請求項 5】**

前記制御手段は、前記計時手段より取得した現在日時と、前記ユーザ情報に含まれる前記ユーザが最後に前記情報処理装置にログインした日時との差が、前記格納手段に格納されている前記保持期間情報を越えていないときは、前記記憶手段に記憶されている前記ユーザ情報を削除しないことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

**【請求項 6】**

前記制御手段は、前記計時手段より取得した現在日時と、前記ユーザ情報に含まれる前記ユーザが他の情報処理装置を介して前記情報処理装置を最後に利用した日時との差が、前記格納手段に格納されている前記保持期間情報を越えていないときは、前記記憶手段に記憶されている前記ユーザ情報を削除しないことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

前記制御手段は、前記計時手段より取得した現在日時と、前記ユーザ情報に含まれる前記ユーザが最後に前記情報処理装置にログインした日時との差が、前記格納手段に格納されている前記保持期間情報を越えていて、前記ユーザにより投入されたジョブのデータが前記保存手段に保存されていなくて、前記ユーザが管理者でないときに、前記記憶手段に記憶されているユーザ情報を削除するように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

**【請求項 8】**

前記制御手段は、更に、前記計時手段より取得した現在日時と、前記ユーザ情報に含まれる前記ユーザが他の情報処理装置を介して前記情報処理装置を最後に利用した日時との差が、前記格納手段に格納されている前記保持期間情報を越えている場合に、前記記憶手段に記憶されているユーザ情報を削除するように制御することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

**【請求項 9】**

前記制御手段は、前記制御を定期的に行うことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

**【請求項 10】**

情報処理装置であって、

ユーザの識別情報を記憶する第 1 の記憶手段と、

外部装置から印刷データを受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信された印刷データを、前記印刷データの印刷を指示したユーザの識別情報に対応付けて記憶する第 2 の記憶手段と、

前記情報処理装置へログインしたユーザの指示に基づき、前記第 2 の記憶手段によって記憶された、前記ログインしたユーザの識別情報に対応付けられた印刷データを印刷する印刷手段と、

前記第 1 の記憶手段に記憶されたユーザの識別情報の中から、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報を削除する削除手段とを有し、

前記削除手段は、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報が、特別な権限を有するユーザであることを示す場合、前記ユーザの識別情報は削除しないことを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 11】**

前記削除手段は、ユーザの前記情報処理装置への最終ログイン日時から一定期間ログインしていないユーザの識別情報を削除することを特徴とする請求項 10 に記載の情報処理装置。

**【請求項 12】**

前記情報処理装置へのユーザのログインは、前記ユーザのアイコンを選択することにより行われることを特徴とする請求項 10 又は 11 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記特別な権限を有するユーザは、前記情報処理装置の管理者であることを特徴とする請求項 10 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

情報処理装置であって、

ユーザの識別情報を記憶する第 1 の記憶手段と、

外部装置から印刷データを受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信された印刷データを、前記印刷データの印刷を指示したユーザの識別情報に対応付けて記憶する第 2 の記憶手段と、

前記情報処理装置へログインしたユーザの指示に基づき、前記第 2 の記憶手段によって記憶された、前記ログインしたユーザの識別情報に対応付けられた印刷データを印刷する印刷手段と、

前記第 1 の記憶手段に記憶されたユーザの識別情報の中から、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報にアクセスできないように制御する制御手段とを有し、

前記制御手段は、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報が、特別な権限を有するユーザであることを示す場合、前記ユーザの識別情報以外にアクセスできないようにすることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 15】

情報処理装置であって、

ユーザの識別情報を記憶する第 1 の記憶手段と、

外部装置から印刷データを受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信された印刷データを、前記印刷データの印刷を指示したユーザの識別情報に対応付けて記憶する第 2 の記憶手段と、

前記情報処理装置へログインしたユーザの指示に基づき、前記第 2 の記憶手段によって記憶された、前記ログインしたユーザの識別情報に対応付けられた印刷データを印刷する印刷手段と、

前記第 1 の記憶手段に記憶されたユーザの識別情報の中から、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報を削除する削除手段とを有し、

前記削除手段は、前記ユーザが前記情報処理装置へ最後にログインしてから一定期間が経過したときに、前記ユーザの識別情報に対応付けられた印刷データが記憶されている場合、前記ユーザの識別情報は削除しないことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 16】

ユーザの識別情報を記憶する記憶手段を有する情報処理装置を制御する制御方法であって、

外部装置から印刷データを受信する受信工程と、

前記受信工程で受信された印刷データを、前記印刷データの印刷を指示したユーザの識別情報に対応付けて記憶する記憶工程と、

前記情報処理装置へログインしたユーザの指示に基づき、前記記憶工程で記憶された、前記ログインしたユーザの識別情報に対応付けられた印刷データを印刷する印刷工程と、

前記記憶手段に記憶されたユーザの識別情報の中から、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報を削除する削除工程とを有し、

前記削除工程は、前記情報処理装置へ一定期間ログインしていないユーザの識別情報が、特別な権限を有するユーザであることを示す場合、前記ユーザの識別情報は削除しないことを特徴とする制御方法。

【請求項 17】

コンピュータを、請求項 1 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。